

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	03300000	建設水道部 土木課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目 K P I	07 土木費	04 都市計画費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業		-	02 駅周辺整備事業費
中事業	09	主要な取り組み	目標値	-	-
小事業	26	駅前広場管理事務			
		目標年度 令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	不特定多数の利用者が在ることから、日常継続的な維持管理が必要である。また、美濃加茂市の玄関口であることから、常に快適で安全な駅周辺施設の維持が求められている。
事業目的	(1) 対象（誰、何を対象にしていますか）駅周辺施設利用者 (2) 目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか）清掃等の日常管理や機器の保守点検等を委託することで、快適で安全な駅周辺施設の維持。
事業概要	美濃太田駅駐輪場（北口・南口）、美濃太田駅前広場（北口・南口）、古井駅駐輪場等の駅周辺施設を、利用者が安全で快適に利用できるように清掃・施設保守点検等による適正な管理を行つ。
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	9,129 10,829 9,873 10,099
決算額	8,489 9,768 9,540
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	835 / 90

アウトプット

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
駐輪場放置自転車の処理回数	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	2		

アウトカム

K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
駅前広場への苦情件数 10件以下	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	10	10	10		

実績

実績	駐輪場および美濃太田駅南口広場の清掃委託業務を実施。
効果	年間を通じて適切に維持管理を行つたことで、駅利用者が快適に美濃太田駅等を利用できた。

評価分析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	放置自転車処理を追加で行つことで、自転車駐輪スペース確保に努めたことで目標値を達成できた。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	放置自転車の処理等による駐輪場の管理、定期的な清掃等による駅前広場の管理を行つたことで、苦情件数を抑えることができたため目標値を達成できたと考えられる。
実績からR05年度の事業の方向性	駅前広場の管理が直ちに住みよいまち（市民満足度調査）に結びつくものではないか、美濃加茂市の玄関口として、快適に利用できるよう、駅前広場、駐輪場を今後とも適切に管理を進めていく。

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	03300000	建設水道部 土木課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目 K P I	07 土木費	04 都市計画費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業		-	04 公園費
中事業	09	主要な取り組み	目標年度 実績	目標値 実績	-
小事業	27	ちびっこ広場管理事務			

インプット

事業実施の背景にある課題	地域の憩いの場であるちびっこ広場は地元自治会等の管理であることや、老朽化が進行する等から、適切な管理が困難な広場（遊具）が発生している。
事業目的	（1）対象（誰、何を対象にしていますか） ちびっこ広場の利用者 （2）目的（事業を行う上で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 遊具の保守点検や修繕工事を行うことで、快適で安全なちびっこ広場の維持。
事業概要	ちびっこ広場の利用者が快適に利用できるように維持管理する。 ちびっこ広場：36箇所
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
	予算額 3,000 2,200 3,200 4,560
	決算額 2,233 1,669 2,958
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	913 / 180

アウトプット

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
広場施設の点検回数	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	3	3	3		

アウトカム

K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
利用者からの要望に対する対応数	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	3	2	5		

評価分析

実績	専門業者および市職員による遊具の保守点検を実施。 要望案件対応数 5件
効果	危険な遊具の使用禁止措置や修繕等により、広場の利用環境が向上した。 専門業者による点検結果を広場管理者である自治会にお知らせすることにより、適切な注意喚起と通常管理が促された。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	専門業者による点検や市職員による点検を実施したことで目標値を達成した。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	点検結果を地域に報告し、地元自治会からの要望により遊具等の修繕や取替を実施したことで目標値を達成した。
実績からR05年度の事業の方向性	広場利用者の安全確保のため、引き続き定期的な点検等を行い、安心・安全に利用できるようにする。